

顧客ニーズの発掘とサービスを創生する。

商品開発のための技術戦略

エンジニアリング・ブランドと技術マーケティングを習得する。

参加者が主体的になって研修を作り上げる

1. 「商品開発マーケティング戦略概念」を理解する。
2. 「技術的差別化」を学び、商品を企画し、市場を見通せる人材を育成する。
3. 顧客ニーズを顧客とともに創生し、それを市場にまで展開する。
4. 技術のブランド、「エンジニアリング・ブランド」を理解する。

市場・顧客と会話ができる技術者を育成する。

【研修方法 1】 1泊2日の課題検討会を含む研修
(1) 1日目 午前10時から午後5時
(2) 2日目 午前9時から午前12時

【研修方法 2】 1日研修 午前10時から午後5時

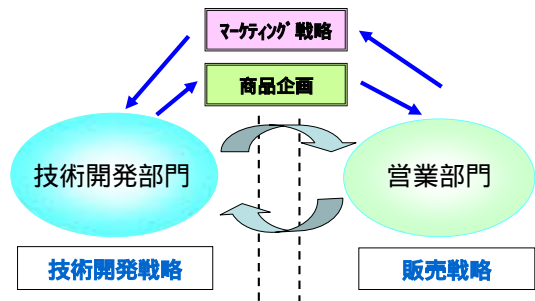
エンジニアリング・ブランドを構築するための研修

(株)イー・ブランド21 (eBrand21) は、創業以来、「エンジニアリング・ブランド」というジャンルで、「技術と経営の融合をめざす」ユニークな経営コンサルを続けてきた会社です。今回、弊社が企画した「実践MOT研修」は、主にエンジニアが学ばなければならないマネジメントを学ぶための研修会です。つまり技術者が新しい時代をリードするための「技術マネジメント」を学習し、演習し、習得する機会を提供します。

(ワークショップの詳細い内容は裏面をご覧ください)

1. はじめに: 商品開発時の課題

相互の立場を理解できない 売れる商品を開発する。



4. エンジニアリング・ブランド:

ブランドと技術を考える

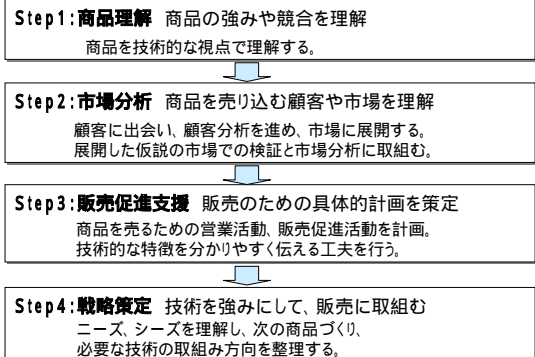
- 技術説明からビジネスが始まる
- 技術を対象としたブランドがあっても良い
- 技術的な視点からのその多重価値をブランド化する



エンジニアリング・ブランド
(Engineering Brands)

6. エンジニアリング・ブランドの構築:

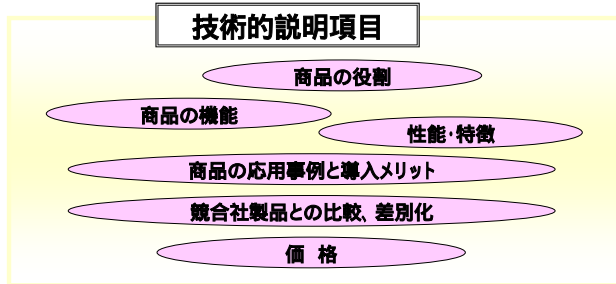
eBrand構築手順



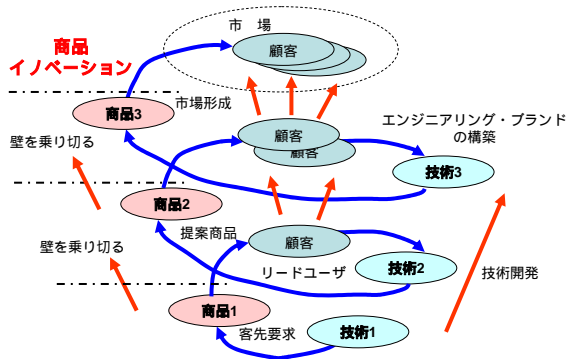
6. エンジニアリング・ブランド構築:

構築手順: 市場分析 (Step 3)
販売促進支援

商品を技術的な視点で説明



7. エンジニアリング・ブランド経営戦略:



8. まとめ

- 人と人との関係構築が、ブランド構築ビジネスの基本となる。
- マーケティング活動を技術者が中心となって取り組むようにする。
- エンジニアリング・ブランドを構築し、技術の「信頼」と「安心」を提供する。

ご挨拶

貴社のエンジニアリング・ブランド構築を支援する

変革の時代には、特徴ある技術開発が求められます。しかし、市場創生を無視しては、その技術を生かすことはできません。「エンジニアリング・ブランド」は、お客様に商品を販売する過程で行う、技術説明を通してのお客様との間で形成される「信頼」と「安心」によって構築されます。

演習テーマとして取り上げるものは、経営方針に基づいて構築する技術ブランドと市場創生の取り組みを行うためのブランド構築戦略の具体化とする。本研修は、同一企業や団体のマネジャークラスを対象に行うことを想定している。